

- 2 エッセイ／“おかね”を語る  
失くしたお金・拾った財布  
流通経済大学経済学部教授 奥野正寛



- 4 インタビュー／扉を開く  
「品格」昭和女子大学学長 坂東眞理子



- 9 地域の底力——大分県豊後高田市  
懐かしい昭和30年代を今に呼び覚ます町  
「豊後高田」を訪ねて



- 16 対談／守・破・創  
自分を認めてくれる大人の目が子供の個性を引き出す  
日本アイアイ・ファンド代表 島 泰三  
日本銀行政策委員会審議委員 野田忠男

- 20 教えて！ にちぎん  
日銀の「支店」



- 24 シリーズ／統計に注目！ [上]  
日銀の統計をご覧あれ  
日本銀行調査統計局企画役 松浦春洋

- 28 日本銀行のレポートから  
「金融システムレポート」— 2010年3月—



- 32 トピックス  
35 AIR MAIL from PARIS  
欧州の父「ジャン・モネ」の家

## 表紙のことば

日本銀行神戸支店は、日本中が金融恐慌に見舞われていた昭和二年六月に日本銀行一六番目、昭和に入ってから最初の支店として開設。かつての外国人旧居留地らしくドイツの独逸銀行があつた土地に建てられた。当時の建物は関東大震災の発生を受けてより耐震性、耐火性を高めた設計で建てられたため、第二次世界大戦時の大空襲でも倒壊を免れたといわれる。戦後の経済発展に伴う事務量および職員数の増加により建物が手狭になつたため、昭和三十六年に道を隔てた向かいに現在の店舗を新築。支店では初の四階建て、エスカレーターの設置も初めてというように当時としては近代的で目立つ建物であつた。旧店舗同様に堅牢に建てられたため、平成七年一月の阪神・淡路大震災にも耐えることができた。このため震災発生時には、現金供給体制の確保や損傷銀行券・貨幣の引き換え、市中金融機関の臨時窓口の提供等、多くの関係者と協力し金融システムの安定を図るために大きな役割を果たした。震災犠牲者への鎮魂と街の復興を祈るイベントとして始まった光の芸術、神戸ルミナリエは当店前の通りで開催されている。

